

## 安心が積み上がりにくいBさんの言動や行動をどう捉えるか

### —失敗から学んだこと—

社会福祉法人せたがや檜の木会 上町工房

田島 和美

(安心できる関係 心情理解 障害特性の理解)

### 1. はじめに

Bさん、40代、男性、知的障害、愛の手帳3度。特別支援学校卒業後、現・就労継続支援B型事業所に通所開始。言語性が高く、初対面の相手にも臆さず話しかけ、上手にコミュニケーションをとる。好きなことや、興味関心事がはっきりとしており、ユーモアある発言や提案で、周囲を和やかにする。一方で、周囲の雰囲気や、他者の反応を敏感に捉えるような繊細さや緊張感の強さもあり、防衛的に強い言動になることがある。

年度途中に担当となり、Bさんが、自分のことをわかってきている安心感を持てる関係を目指し、受容的な関わりを軸に、心情を捉えているつもりだったが、いつしかAさんの言葉をそのまま受けとめ、言葉に隠された、見えづらい心情をくみ取れず、Bさんの不安を助長させてしまったようだった。それにより、さらに、Bさんの強い言動や行動をパターンの引き出すことになってしまった。今年度、他職員がBさんの担当となり、新担当とのやりとりから、受けとめ方や関わり、また自分の心情も含めて振り返り、支援に必要な視点や捉え方を改めて考察する。

### 2. 基本的な支え方

Bさんが、安心して過ごす中で、楽しみや充実感を得られるようにする。

- (1) 安心して過ごすために
- (2) 今すべきことに気持ちを向けられるために
- (3) 得意を発揮するために

### 3. エピソードを通して、関わりを振り返る

3年前、出会った当初は、「自分にとってどんな存在か」という思いから、自分の興味関心事の話題で話しかけてきたり、時に「来て!」と強い口調でこちらを試すような姿もあった。お互いに知るための時期として、否定せず、受容的な関わりを続けた。担当不在時に代行に入るようになり、少しずつ「今はこれだから、あとでやりましょう」という、一定の線引きの伝えや、誘いかけを行うようにしたが、反発や苛立ちを助長させる状況を増やしてしまうことになった。

- (1) エピソード・1 「田島さん、見てくれないんだ」  
— 共感してくれた嬉しさが実感できて、安心感になる。
- (2) エピソード・2 「ご飯いらない、食べたくない。おなかが痛いんだ」  
— 強い言葉に隠れている不安

#### 4. エピソードから分かったこと ー少しずつでも安心感が積みあがるようにー

不安や緊張が強いBさんにとって、安心感を得ることが、Bさんらしい生活を送れる土台になると考えているが・・・

関係が築けている職員が、1日休暇をとっただけで、相手の様子を窺い、どう話しかけるか、どうやりとりを始めるかに、高い緊張感を持つBさんの姿から、今日うまくいったけど、明日はどうだろう、と安心が、満たされにくい難しさを感じる。「うまくいった」、「楽しかった」、「かっこよかった」経験をたくさん重ね、分かってもらえた安心感を、時間がかかっても少しずつ得られるよう、きちんと言葉にして伝え続けていく。分かりやすい仕組みや、枠組みを皆で確認、共有し、支えていく事が大事だと改めて確認した。

#### 5. 考察 ー失敗経験を通して、改めて確認できたことー

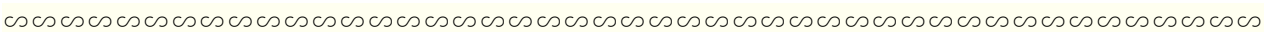
(1) 心情理解ー現象に流されないこと。目に見えない気持ちを肯定的に解釈し、代弁すること。

(2) 障害特性の理解ーその方の理解の仕方や、捉え方を承知する

そのために

↓

- ・背景や成育歴を知る
- ・多面的な視点を持つ
- ・チームで支える



<助言者コメント>

橋本 睦子（社会福祉法人大三島育徳会障害者支援局長）

私が勤務している作業所では、4月に担当職員の発表をしますが、利用者が固唾をのんで聞いている雰囲気があります。利用者にとって担当職員は大きな関心事です。去年と一緒に安心！変わって期待感！色々な感情がないまぜになります。

Bさんは、作業所に20年以上通所され先輩としての立ち位置もあるように思います。言語性が高いBさんにとっては職員との関係こそ、作業所での安心のバロメーターになっているのかもしれませんが。だからこそ、職員がどれだけ自分のことをわかってくれているかを試してみるようなこともあるのでしょうか。今発表では、なかなか見えずらいBさんの心情をくみ取れず、不安を助長させてしまったと自らのアプローチを振りかえり考察しています。支援は、十人十色です。失敗を生かすことで理解と関係性ができていくことも多いと思います。考察にあるように障害特性、背景や成育歴についても理解を深めつつ、他に「不安のもと」があるのかのアセスメントも必要でしょう。支援に正解は、なかなかありません。何より個人で抱え込まないで、チームで役割分担を図り支えていければ良いですね。

最後に、発表パワーポイントについて、今後はイラストや写真、強調文などの活用にもチャレンジしてみてください。